



# 通信『ほくと』

天童市立天童北部小学校  
校長 佐藤 尚子

## 全国学力・学習状況調査についてのお知らせ

令和4年4月に6年生が受けた「全国学力・学習状況調査」の結果が届きました。この調査は、学習したことが子供たちにどのくらい身に付いているかを調べ、学校での指導に役立てていくために行われています。

学力調査問題では、「知識・技能」はもちろん、知識・技能を生活の様々な場面に活用する「思考力・判断力・表現力」に関して、5年生までに学んできた内容を問われます。6年生の特徴的な傾向を学校全体の成果と課題ととらえ、対応していきます。

<学力の状況について> ○…成果が見られるところ △…課題が見られたところ

### 【国語】

○言葉の使い方についての理解(話し言葉、書き言葉の違い)

○登場人物の心情について叙述を基にとらえ読む

△構成や表し方などに着目して文章を書く

△構成や展開について着目して読み、意見を伝え合い、良さを見つける

### 【算数】

○整数の乗法の計算

○全体と部分の関係に着目し必要な数値を求める

△目的に応じたグラフを選択し、必要な情報を読み取る

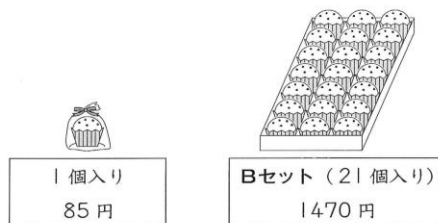
△目的に応じた数の処理の仕方を考える  
(⇒右の問題)

実生活の問題を解決するために、概数で学んだことを活かして考える問題です。

数を大きく見るのか、小さく見るのか目的に合わせて考えることを求められます。

また「児童質問紙」の「授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」という項目では「考える・どちらかと言えば考える」と回答した児童が56%と、全国や県の傾向よりも下回りました。実生活の中で活用する力を授業の中でさらに育てていきます。

(4) カップケーキが1個入り85円でも売られています。  
くるみさんは、1個入り85円のカップケーキ21個分の値段と、Bセット  
1箱分の値段である1470円を比べることにしました。



1個入り85円のカップケーキ21個分の値段は、 $85 \times 21$ で求めることができます。



くるみ  $85 \times 21$ の答えが1470より必ず大きくなることは、 $85 \times 21$ をそのまま計算せずに、85と21をがい数にして計算してもわかります。

$85 \times 21$ の答えが、1470より必ず大きくなるのがわかるためには「85」と「21」をどのようにがい数にして計算するとよいですか。

下のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 85を小さくみて80、21を小さくみて20として計算します
- イ 85を小さくみて80、21を大きくみて30として計算します
- ウ 85を大きくみて90、21を小さくみて20として計算します
- エ 85を大きくみて90、21を大きくみて30として計算します

【理科】

○実験器具についての理解(名称・使い方)

△実験や観察で得た結果を分析解釈し、自分の考えをもつ



国語、算数、理科の問題で共通していたのは、文章や資料(表・グラフ・図)等からたくさんの情報を「読む」力を求められていることです。問題の文章量も多く、様々な方法で記述されている情報から、場面に応じて必要な内容を取り出す必要がありました。これからの情報化社会に生きる子供たちには必要不可欠な力です。国語はもちろん、様々な学習の場面で引き続き「読む」力を高めていきます。

また、答えを選択肢から選ぶ問題よりも、文で記述する問題の無解答率が、全国や県の結果と比べて高いこともわかりました。困難なことにもあきらめずに挑戦し、達成する喜びや自信がもてるような経験を大事に積み重ね、励ましていきます。

<学習や生活の状況について>

勉強や生活の様子についての「児童質問紙」の結果からみた本校の特徴は以下の通りです。

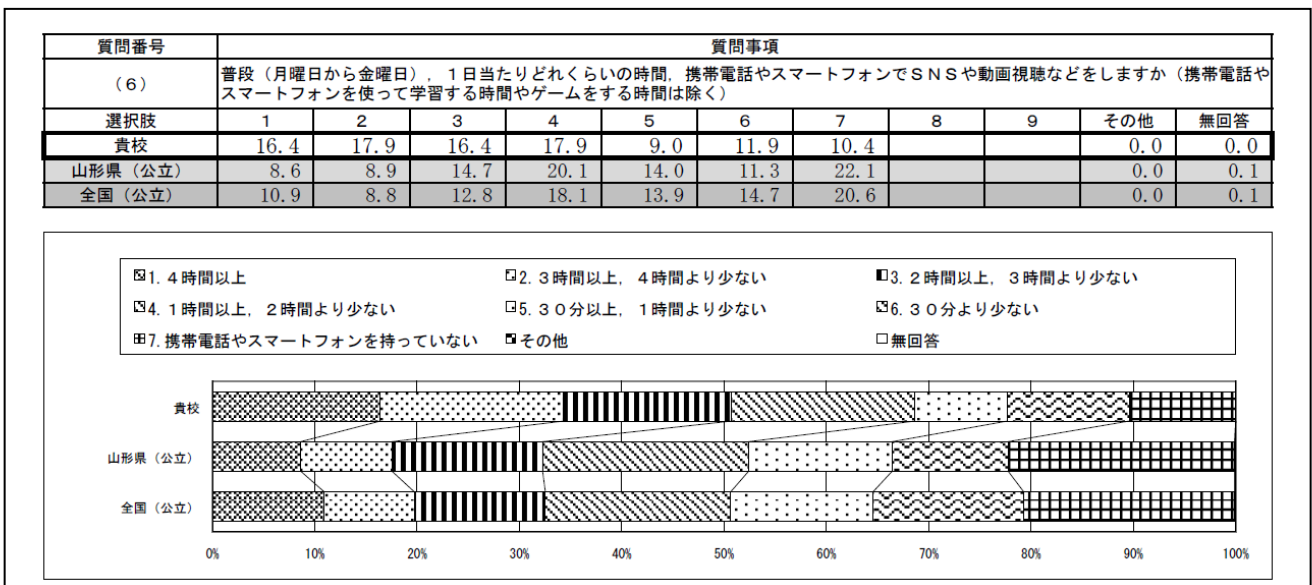
\*全国や県の傾向を上回っていた項目

- 毎日同じ時刻に起きる
- 1日30分以上読書をする
- 読書は好き
- 授業でPC・タブレットを使っている

\*改善が必要な項目(全国より大きく下回る項目)

- △自分にはよいところがある
- △人が困っているときは進んで助けている
- △学習したことを生活の中で活用しようとする
- △家庭での学習時間
- △携帯電話等での動画視聴・ゲームの時間

とくに、携帯電話、スマートフォンでの SNS や動画視聴の時間が長いことがわかりました。(下表)



全国や県と比較すると、「1時間以上」という回答が約70%で、全国の約50%を大きく上回っています。3時間以上と答えた子も多くみられました。

学習にもメディアにも、自分で考えて取り組んでいく「自己調整力」を高めていく必要性を強く感じます。学校で、引き続きメディアとのつきあい方やネットモラルに関する学習を行っていきます。また、自分で計画を立てて学習を進めていく経験をさらに増やしていきます。

ご家庭でも、メディアとのつきあい方について、ぜひ、話し合っただけたらと思います。